



Architecture
Presentasion

architect
Toyomi Sugihara

Sugihara
Architectural
Design Office



Bauhaus Project

建築家と建てる家を、
身近に、手軽に



R+house



BAUHAUS.
The Bauhaus satisfies the function,
and R+house and its design and these should be trademarks.





担当建築家

一級建築士

杉原 豊実

Sugihara Toyomi

スギハラ建築設計事務所@広島

住まいづくりで大切にしていることは、
なんとなく感じる居心地の良さ、気持ちの良さ、使いやすさ。
家族みんなが健やかに過ごせる住まいを目指しています。
そして、活かし方が住む人によって変わる土地の個性をしっかりと読み取ります。
土地とお客様を結びつけ、豊かに暮らせる幸せ住宅をご提供します。

Profile

1970年 広島県生まれ

1994年 広島工業大学建築科 卒業

1991年 地元建設会社 勤務

1998年 海外の建築を見て回る

2000年 株式会社 蔵建築設計事務所、他住宅会社勤務

2014年 スギハラ建築設計事務所 設立

デザインの素晴らしさ&長持ちするデザイン

今の日本の住宅の寿命は約30年というのが普通です。

ちなみに、アメリカでは70～100年以上、イギリスでは100～120年以上。

建物の設計や住まい方次第で、家の寿命を延ばすことは可能なんです。

日本と欧米、なぜこんなに違いがあるのか？

欧米では、ライフスタイルに合わせ自由に変更できる家なので、

お金あまりかけずに、生活に合った良い暮らしをしたり、子どもの世代に受け継いだり・・・

そんな良い循環ができているので建物の寿命が長いのです。

実際に、何十年も前にデザインされた建築や家具が今の時代でも愛され続け、

価値のあるものとして受け継がれています。



1904年
バレルチェア



1920年代
LC2/LC3 ソファ



1929年
バルセロナチェア

近代建築の三大巨匠

►ミース・ファン・デル・ローエ
1931年 サヴォア邸



►フランク・ロイド・ライト
1936年 落水荘



►ル・コルビュジェ
1951年 ファンズワース邸



建築家の高度な設計スキル

お客様のライフスタイルにあった設計をする上で重要なことのひとつに

『動線』を考慮することがあります。

動線とは、家の中を自然に動くときによく通る通路のこと。

普段の生活で朝の忙しい時間帯や、夜の家族でくつろぐ時間帯での

動線、炊事・洗濯・取り入れ・お風呂・就寝の準備など

家事をする時の動線、来客があるときの動線など、その家族に合った

動線を計画する必要があります。

お父さんの部屋

お母さま様にご指導いただいたように南東に配置し、南側の窓は
開け出しています。またLDKへ行く用口、さあお掃除と行き来する用口は不便ないように北側のどちら引戸にしてあることをご参考下さい。
さあが時々で行きたいと思うてみらぬものがどこ多が好みで、
とあります。B付の反対を確保しまわるといふことにございましてがどんな
感じになりますが、今が把握してあいた方が良いと思いまして、一応ある
程度は見てみます。介護用には、バッケンも置かせてもらっています。
ある程度は見てみますが、ソフセットのテーブルは、かなり狭くあります……
置かない方が良かと……みせ、ソフセットタイプもこのように置かれて
BOXが置かれてあります。参考にして下さい。

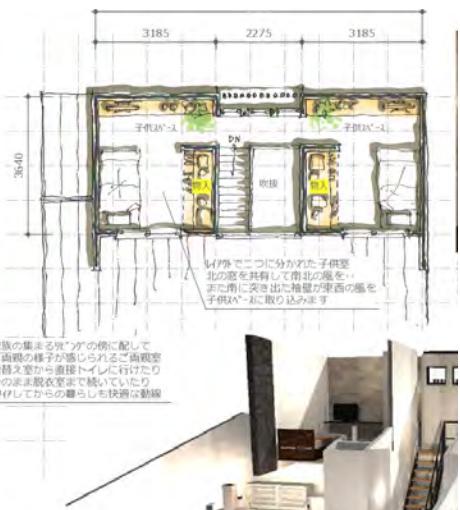
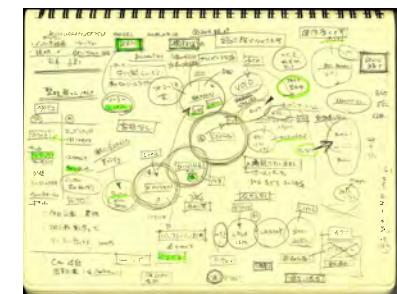
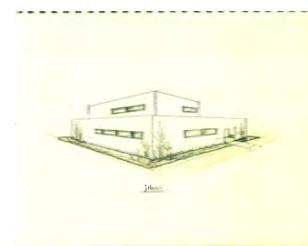
お母さんの部屋・押入れ

さあがお母様の部屋は配置しております。黄色い部分は、
LDK(廊下)への用口、さあとの行き来の用口(上記書き込み)は、
南側の用口になる引戸にしてあります。ご安心ください。また、ご添間から
いたために、主にこちらを置こころは非常にいいです。お2人の寝具を收纳
するための押入れも、丁度良い位置で確保できています。実は、今
さあが出来ていて2台とも、洋服掛け、壁掛けの構造では、これまで配置に
なるのがなまと書いてあります。参考にして下さい。

お母様は毎日の負担が減るよう、WCを一番近くにするようにしました。
少しでもラクしい日々を目指します。

全体の配置について

さあがお母様は、LDKと他の部屋とのアクセスを日々の生活の
重宝するところとして考えました。お母様は、大切にしあらはる和室の考え方をきちんと
成り立つように……(以下)です。■様御家族が安心して快適に暮らして
いけるよう想いを込めて計画させていただきました。



敷地を読む

樹木は同じ種類でも同じ形のものは一つもありません、枝ぶりも違う。
 それは生えている場所が違うからです。
 住宅も同じです。敷地に溶け込むデザイン、自然の風・光を利用する
 デザインになるべきなのです。
 建築家は、まず敷地を見て、その中でお客様の要望を入れて
 全体的にデザインしていきます。



建築家 藤本誠生建築設計事務所@熊本 藤本誠生



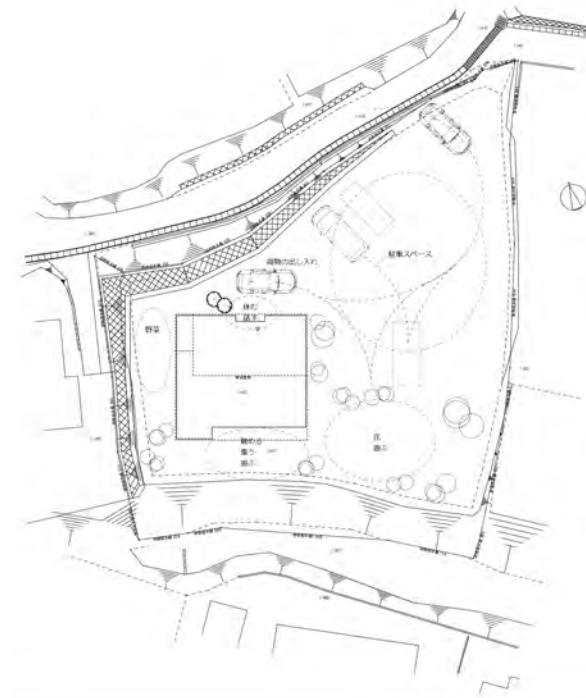
建築家 スギハラ建築設計事務所@広島 杉原豊実



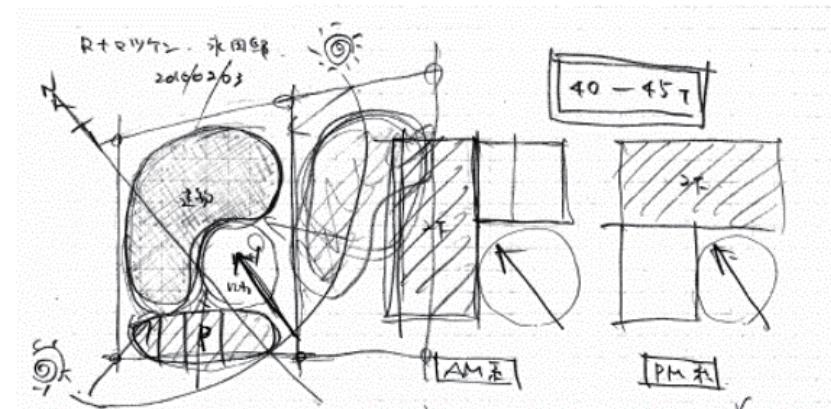
建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎
2018/03/17



建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



光・風・周辺の交通量・車が多いか・
 人が良く通るか・昼夜のギャップ・隣家と距離感・
 隣家の窓・玄関位置・どんな部屋なのか土地の
 個性を考え、間取りや窓の位置は必ずその敷地に
 合わせて作りこまれています。



ヒアリング力と提案力

建築家と住宅会社の設計担当者とでは、家づくりに対するアプローチが全く違います。

例えば・・・

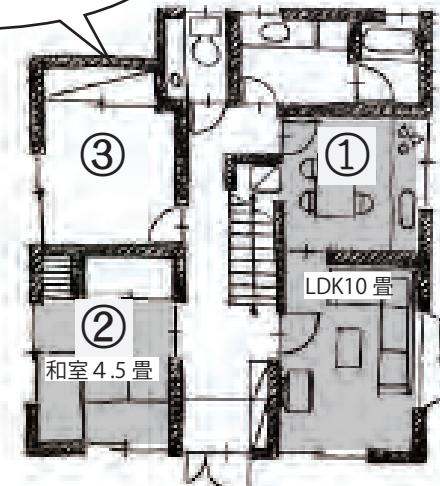
LDKは何畳欲しいですか？
和室は何畳欲しいですか？

①リビングとダイニングは分けて全部で
12畳くらい欲しいです！

③洋室も1つ欲しいな

②和室は5畳あるといいなあ・・・！

空間の寄せ集めプラン



一見、要望を聞いてくれて反映させてくれているように感じますが、
これは要望をパズルのように当てはめただけの【空間の寄せ集め】になります。
それは、本当にお客様にとって最適な間取りなのでしょうか？

建築家は、こう聞きます。

「目をつぶって想像してください。建てた家で何をしている光景ですか？」

その答えが、一番やりたいことです。そのライフスタイルを実現してくれるのが建築家。
簡単にヒアリングされて出てきた間取りと、しっかりヒアリングされプロの建築家の知恵が反映された
結果とは違います。



さあ、建築家の提案を見てみましょう→

block planning

配置計画

北西

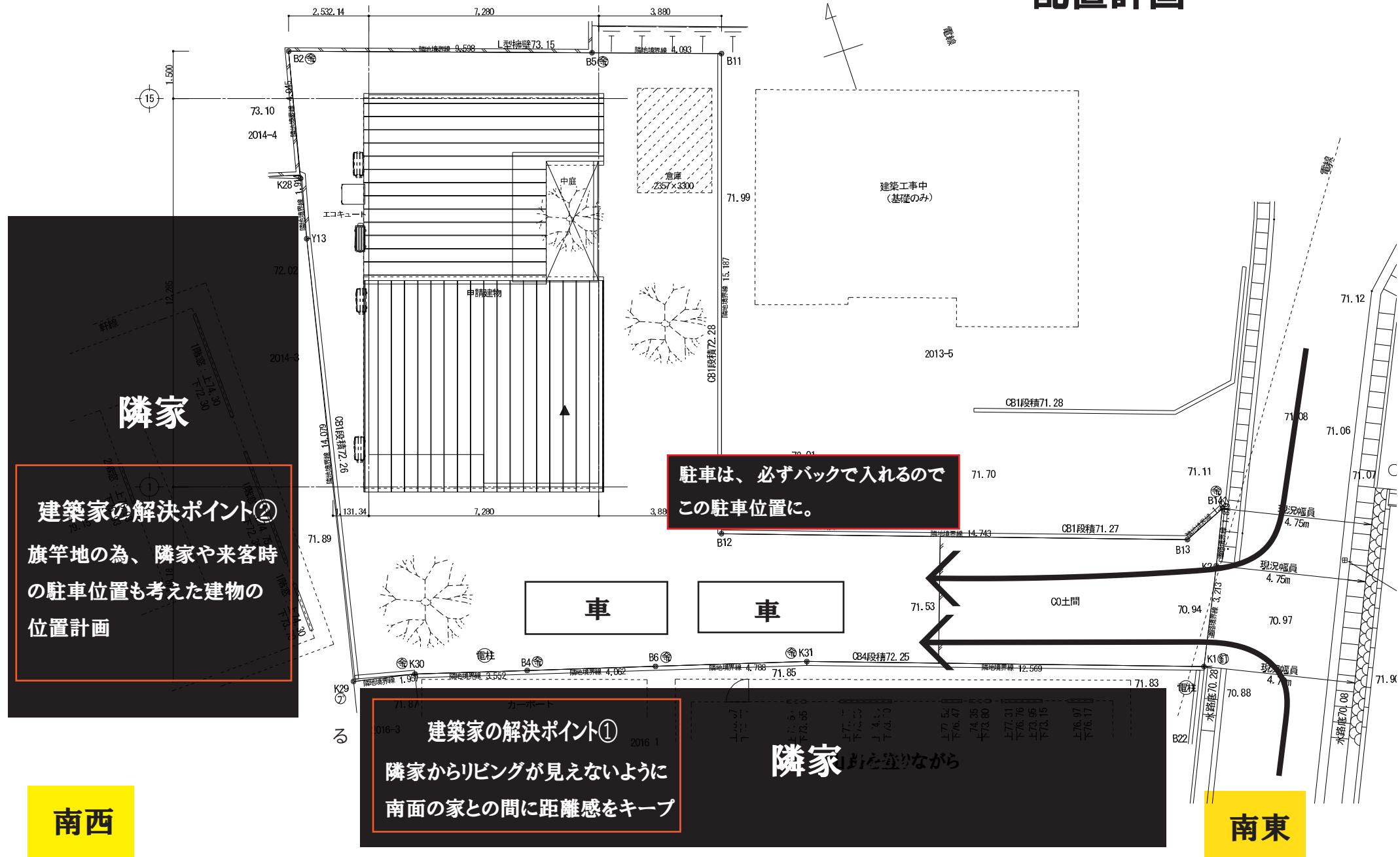
隣家

建築家の解決ポイント②

旗竿地の為、隣家や来客時の駐車位置も考えた建物の位置計画

建築家の解決ポイント①

隣家からリビングが見えないように
南面の家との間に距離感をキープ



犬の散歩後、脚を洗ったりシャンプーしたり出来る
スペースが欲しい。家族用と来客用入口動線は別に
したい。

お客様用玄関と家族用玄関に勝手口を設けて別々に
分けることで、犬の散歩から帰宅後は、玄関から
土間を通らずに勝手口から入ればそのまま脚などを洗う
ことも可能です。こちら側に、シューズクローケを設け
家族用玄関として使えば、玄関をすっきりきれいに保てますよ。
勝手口からは、ペットの道具や餌を収納している倉庫までの
距離が近いので、便利ですよね。

キッチン横にPCスペースがどこかに
欲しい。キッチン周りの動線は1カ所
にまとめたい。

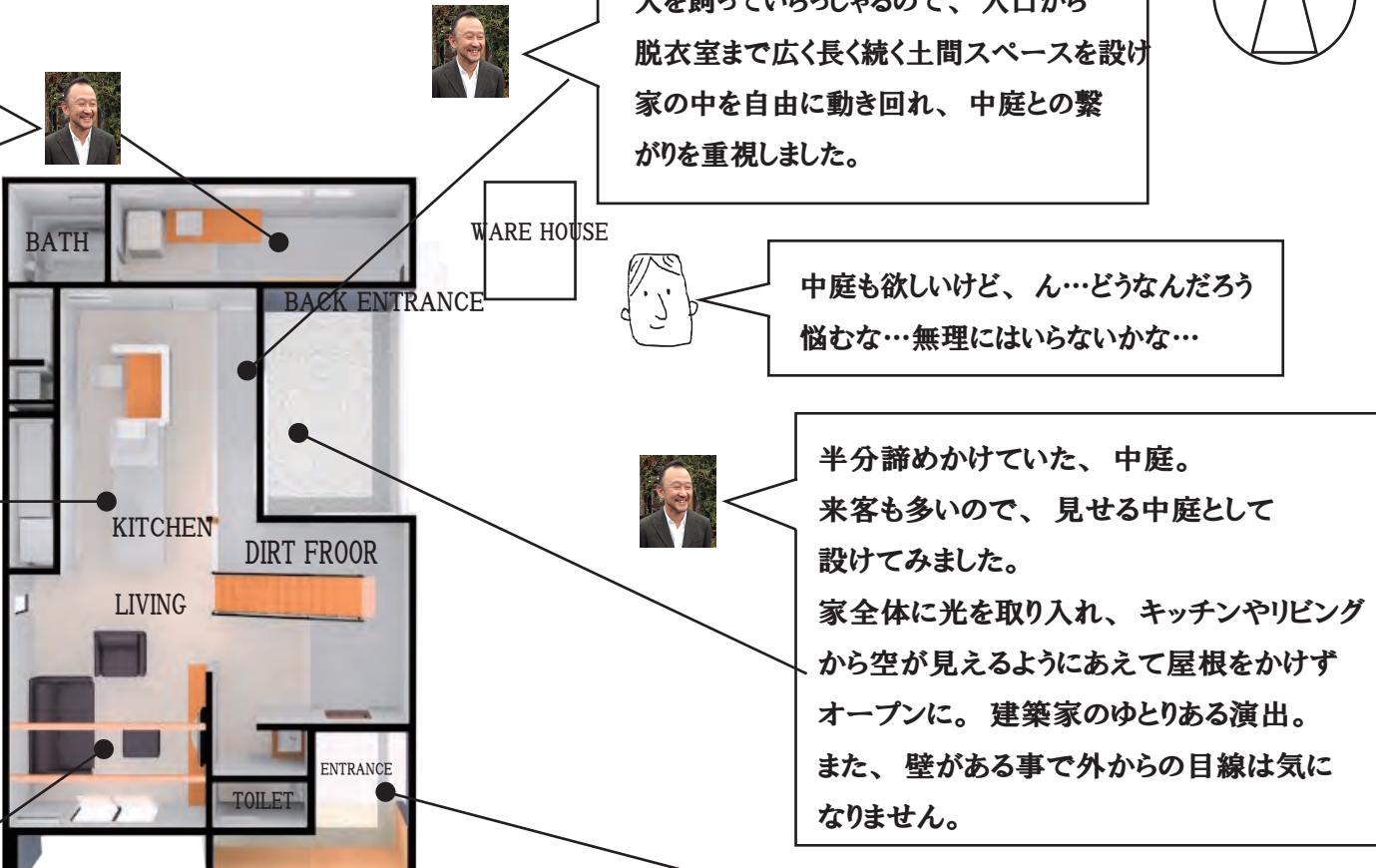
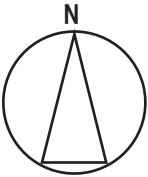
来客が多いとのことだったので、PCスペースは
あえてリビングから離した位置に。
キッチンを拠点に、玄関・水回り・リビング・
2階、どこへでも行き止まりなく行ける動線で
日々の生活の時間短縮にもなります。

ソファを置いて、ゆっくり
くつろげるダイニング兼リビング
とかいいな！

来客時のこと考慮して玄関はから入って
すぐの位置にリビングを設けました。
広い土間を通じて中庭がきれいに見える
ことにより中庭との繋がりと広がりを重視
した建築家のこだわり。

玄関開けて広い土間スペース
なんか憧れるな。

1st
f l o o r



犬を飼っていらっしゃるので、入口から
脱衣室まで広く長く続く土間スペースを設け
家の中を自由に動き回れ、中庭との繋
がりを重視しました。

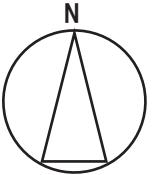
中庭も欲しいけど、ん…どうなんだろう
悩むな…無理にはいらないかな…

半分諦めかけていた、中庭。
来客も多いので、見せる中庭として
設けてみました。
家全体に光を取り入れ、キッチンやリビング
から空が見えるようにあえて屋根をかけず
オープンに。建築家のゆとりある演出。
また、壁がある事で外からの目線は気に
なりません。

隣家から見えないように南側にも
壁を設けました。入って左側のスペース
には、スポットライトをあし、印象的な
エントランスに。

玄関は外から見えないほうが
いいかな。

2nd floor



子供部屋は、広いほうがいい。



子供部屋と寝室の部屋の両方から行き来ができるウォークスルーのクローゼット。北側の壁を一部抜いて光を入れ、空間をできる限り広く見えるようにしています。



ゆっくりくつろげて、PCなどもできる様ゆとりをもたせて子供部屋は6畳にしました。



2階のホールから1階への繋がり重視したい。



リビング上に吹き抜けを設けることで、南側の大きな窓から光を1階にも取り入れられます。床をスノコ状にすることで1階には光の雨が降り注ぐようなイメージ。日光浴など穏やかな時間を楽しめる空間にしてみました。



3畳ぐらいのウォークインクローゼット欲しいな。



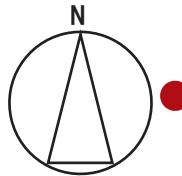
1階とのつながりを感じたいので、扉は必要ない。



寝室を南側に設け、あえて扉を付けずにどこからでも行き来出来る自由な空間にしてみました。



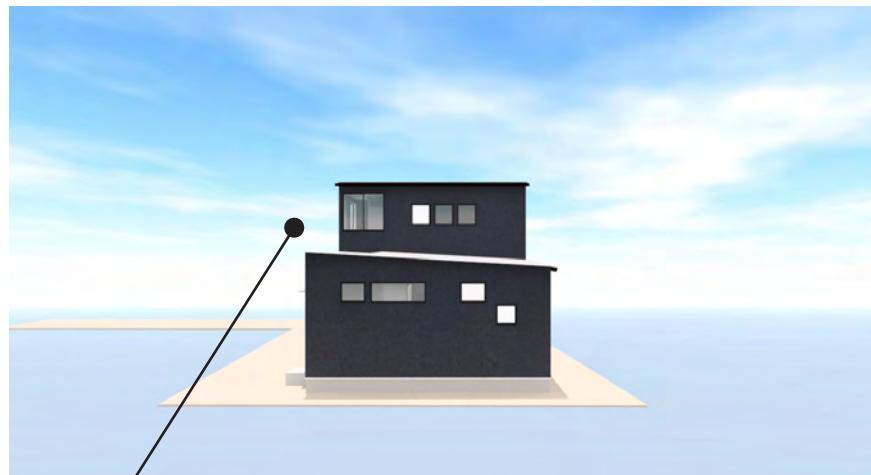
南側は視線が抜けて景色がいい為、大きな窓を設置。袖壁と庇で西日の入りを調整し防ぐことができる。



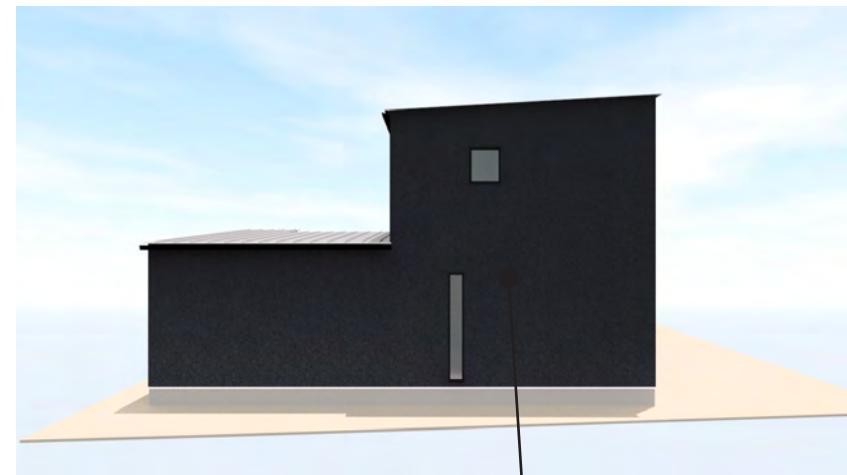
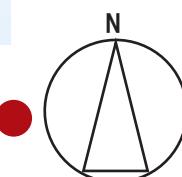
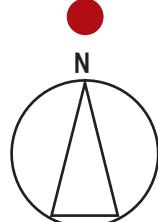
隣家があるので目線が重ならない位置に窓を設けている。



あえて壁を上まで配置していない。
隣家からの視線を考えた高さにしている。
尚且つ光も入り室内が明るい。



北側は隣家があるので、2階を南側に配置。



西側は西日が入ってくる為、
あえて窓を2箇所しか設けていない。

熊本風配図

...とは、ある場所における一定期間の風向の頻度を八方位もしくは一六方位に分けて表し、同時に各風向きの平均風速をも示したもの。

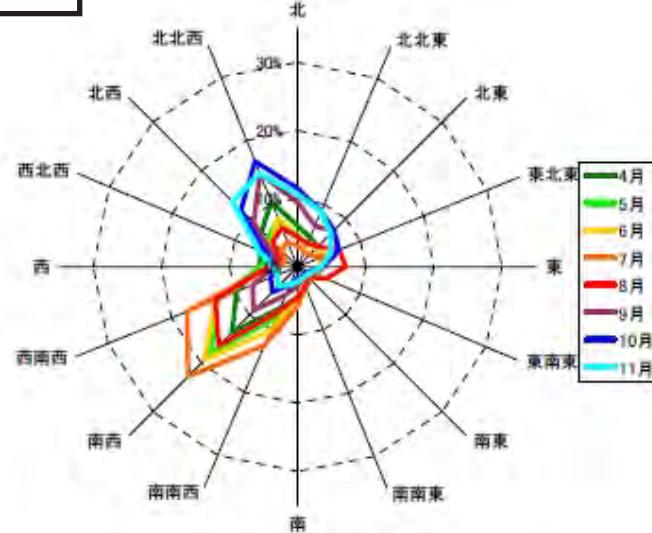


図4a 月別風配図(起居時)

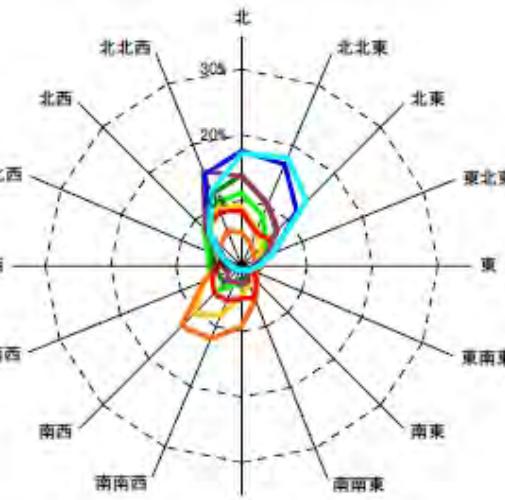
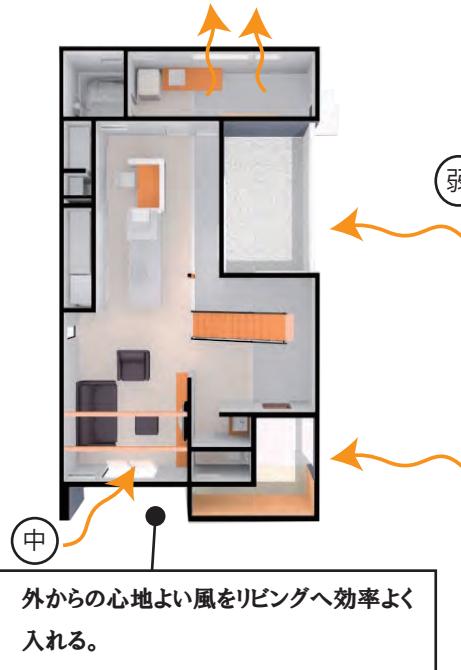


図4b 月別風配図(就寝時)

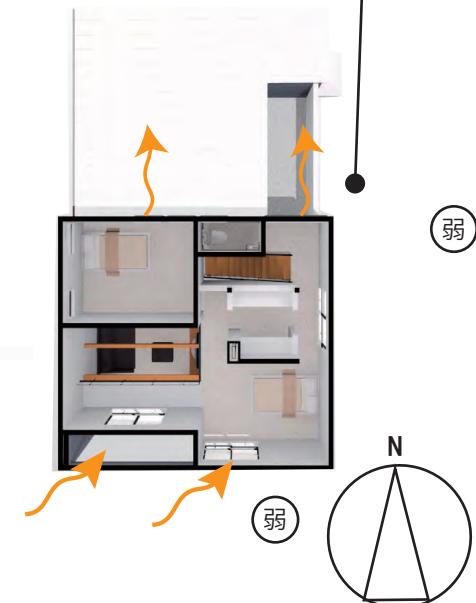
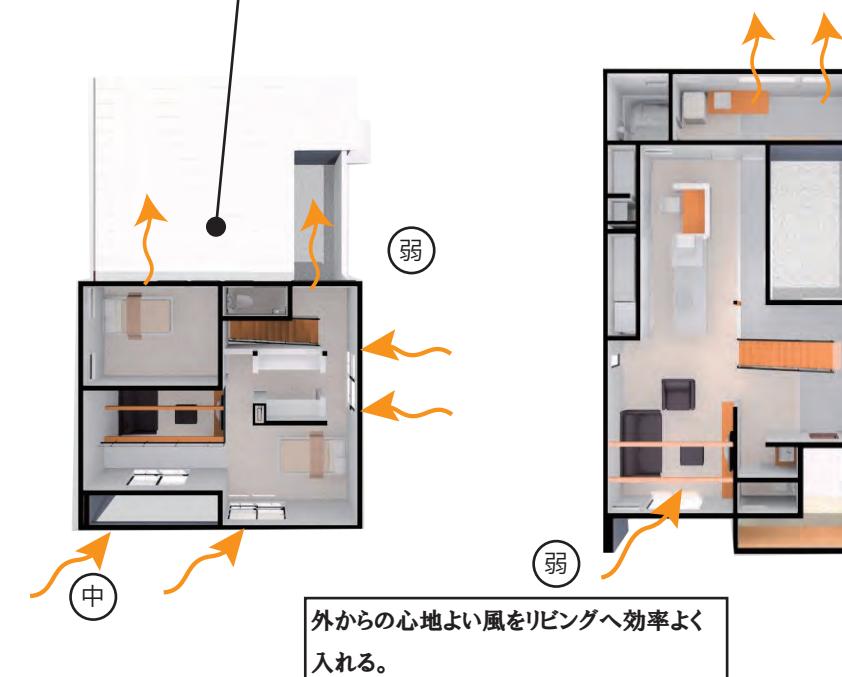
起床時

弱めの風は横すべり窓で効率よく外へ抜ける。



就寝時

強い風が入らないように窓の配置や形状を考慮している



冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬午後12時



(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、1階・2階の掃き出し窓から部屋の奥まで暖かい光が差し込みます。



真夏午後12時



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなるので、袖壁と庇で直射日光を遮っている。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに代わる太陽の動きも熟知したうえで設計します。

日照イメージ

